

第2学年1組 生活科学習活動案

男子17名 女子15名 計32名

場 所 2年1組教室

授業者 松田 智子

1 単元名 元気にそだて ぼくらのサツマイモ

2 2年1組の子どもたち

本学級は、ものおじせずパワフルで行動的な男子、穏やかな女子の多いクラスである。それぞれ関心を示すところが違い、学級で意見のまとまりを感じることやみんなで何かに向かう姿を見ることは少なかったため、考えを全体で共有しながら学習を進めていけるように、「人の話は心に向けて聞く」ということを大切に指導してきた。学習や生活の場では、自分の考えを言える子どもや友だちの話につなげて反応する子どもは限られている。

生活科では、1年生の時に、一人一人がアサガオを育て、きれいな花を咲かせて、花を使った遊びや種取り、つるを利用した飾り作りなどの活動に取り組んだ。また、クラスでは畑でポップコーンを育てる経験もしている。育てやすい植物の特性で、どちらも大きな障害もなく育てることができた。

アサガオの栽培では、葉が増え、つるが巻き付いていく様子、つぼみができて花が咲くことなどの小さな変化への気づきを重ねてその成長を感じたり、花から実をつけ、種のできる実のしぐみに驚いたりしながら、水やりや支柱立て、追肥などの世話をし、育てることの喜びを味わうことができた。

ポップコーンでは、自分の背を越すほどぐんぐん伸びる草丈、四苦八苦しなながら抜いた根の強さから、その生命力を感じ取ることができた。

2年生では、「食べられる野菜を育てたい」「収穫したら自分たちで作って食べたい」という子どもの願いがあり、鉢にはミニトマト、畑にはサツマイモを植えて育ててきた。

一学期は自分のミニトマトを育てることに力を入れ、実を収穫して味わった。育て方や育ちに個体差はあったが、自分のミニトマトのよさを見つけて自慢し合い、自分の世話やがんばりをふり返った。育ちに大きな差があることから、友だちのミニトマトと自分のミニトマトとの成長の違いについてその理由を考え、世話の仕方に違いがあることに気づいた子どもたちは、友だちの育て方を取り入れながら育てた。ミニ観察日記や朝の会での野菜ニュース、付箋で知らせる情報コーナーなどの取り組みにより、野菜の様子を気にかけて継続的に様子を見に行ったり世話をしたりする子どもが増えてきた。

しかし、サツマイモについては、成長を楽しみにはしているものの、親しみや愛着をもってかわる意識はまだ低い。サツマイモの育ちに関心を持ち、成長に合わせた世話をくり返ししながら、継続的に育てることができるようしていきたい。

3 教材について

本単元で扱う「栽培活動」は、学習指導要領では、第3章第2節に、「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみを持ち、大切にしようとすることができるようにする。」として位置付けられている。

本単元では、1年生でのアサガオやポップコーン、1学期のミニトマトの栽培の経験をもとに、サツマイモにかかわり、育てて収穫し、その後の活動につなげていく。

サツマイモは、やせた土地でも成長し、害虫などにも強く、手をかけなくても育つので、低学年の子どもでも栽培がしやすい。長さ30センチほどの苗が、葉の数をどんどん増やし、つるを畑一面に広げていく様子を目の当たりにすることで、生命の力強さを感じることができる。

これまで育てた植物とは違い、土の中で育ち、芋の成長が見えないために、関心をもち続けながら世話をすることは難しい。しかし、葉っぱや茎の成長の様子及びこれまでの経験などを手がかりに、土の中の様子を自分なりに予想し、想像力を働かせておくことで、実際の収穫では、その様子の違いが一目でわかり、子どもたちの心に大きな驚きと深い印象を与えると思われる。

おやつやおかずで口にする機会が多く、甘みがあり、身近で親しみ深く人気のある食材であることから「自分たちでおいしいサツマイモを育てて、食べる。」という明確なめあてをもち、成長や収穫を楽しみにしながら意欲的に活動ができる。いろいろな食べ方があり、葉っぱやつるも利用できることから、活動を広げて楽しむこともできる。「育てたい、作りたい、食べたい。」という意欲を高め、自発的な活動を引き出すことができるという点からも「サツマイモ」は魅力的な教材であるといえる。

4 子ども中心の単元づくりを目指して

(1) 単元の目標

- ・サツマイモの栽培活動に関心をもち、「自分たちのサツマイモを育てて収穫したい」という思いや願いをもとに、その成長を楽しみにしながら、大切にサツマイモを育てようとするすることができる。
(関心・意欲・態度)
- ・大きくおいしく育てるために、成長に合わせた世話の仕方を考えて繰り返しサツマイモにかかわり、気づいたり世話したりしたことを表現したり伝え合ったりすることができる。(思考・表現)
- ・サツマイモのもつ生命、変化や成長の様子に気づくとともに、その成長にかかわった自分に気づくことができる。
(気付き)

(2) 単元構成について

第1小単元「みんなでそだてよう」では、育ててみたい植物について話し合い、子どもたちの思いや願いを探る。子どもたちは、「おいしく食べたい、収穫したもので作りたい。」という思いをもち、ミニトマトとサツマイモを選んだ。特に、みんなで育てるサツマイモについては、「おいしいサツマイモを育てたい。」「育てたサツマイモを使って、自分たちで作って食べたい。」という強い願いをもっている。アサガオやミニトマトの栽培で得た経験や喜びを、本単元の栽培活動に生かしていけるようにする。

第2小単元の「チャレンジ！2年1組の『あまいサツマイモ』」では、自分たちの願いとその願いに対する活動をつなげていく。「どんなサツマイモになってほしいか。」という願いと、願いに近づくための世話について、畑の先生から教えてもらったことや、調べたり聞いたりした「栽培や収穫に関する情報」をもとにして考え、意欲や見通しをもってかかわれるようにする。生活科の時間以外にも継続的にサツマイモにかかわれるように、掲示物を工夫し、気づいたことを日記に書くなどして、栽培への意欲を高めていくようにする。

栽培が長期にわたるため、サツマイモへの愛着を深めるために、めあてをもってふれ合う時間を取る。見える部分だけでなく、見えない土の中についても考えたり想像を膨らませたりして自分たちのサツマイモに特別な思いをもてるようにする。サツマイモの変化や成長に合わせて、自分がしてあげたいことだけでなく、サツマイモがしてもらいたいことの視点からも想像し、働きかけを考える。栽培の中での心配事、わからないことを知りたいという子どもの思いに寄りそって、ゲストティーチャーを迎え、質問や相談をしたり、アドバイスをもらったりすることができるような場をもつ。よりよく育てたいという意欲を引き出し、その後の栽培の見通しをもち、レベルアップができる場とした。そして、サツマイモのいろいろなことに気づき、見えないサツマイモへの思いを大切にして、収穫へ向かう。収穫は、自分の願いが叶っているかがわかる大事な瞬間である。子どもたちの見せる表情や行動の様子をていねいに見取っていくようにする。また、収穫したサツマイモは、学級活動(1)の内容で時間をとり、計画、準備、作って食べる一連の活動を進めていくこととする。

単元の終末では、サツマイモの成長や収穫には、一緒に育てた友だちや畑の先生、情報をくれた家

族とのかかわりや支えがあったことに感謝できるようにする。そして、『サツマイモとの思い出シート』を書きながら、約半年間に及ぶ学習についてまとめていく。ふり返りながら、自分の成長にも気づくことができるように、シートの内容を工夫する。

(3) 目指す子どもの姿にせまるための手立て

①学習課題に自分事として取り組んでいる子ども(自分事)

- ・栽培意欲を高めるきっかけづくり

学習した物語のストーリーに重ね、登場人物になったような楽しさを感じながら、自分たちはどんなサツマイモにしたいかを考える。栽培への意欲を高めるきっかけとなるようにする。

- ・サツマイモ日記によるかかわりの積み重ね

数多く畑に足を運んで、サツマイモにたっぷりとかかわれる時間を保障する。簡単なサツマイモ日記を書いて記録し、その子なりのサツマイモへのかかわりを積み重ねていく。

- ・見えない土の中の成長を考える

教室にサツマイモのさし木を置き、根が付き、伸びていく変化の様子を見ていく。自分のサツマイモの生命や土の中で成長する様子を思いうかべ、収穫への期待をもって栽培に取り組めるようにする。

②自分の考えを伝え合っている子ども(伝え合う)

- ・交流する時間の確保

自分や友だちの集めた情報や、畑のサツマイモの様子から気づいたことなどを、友だちと交流する時間を確保する。お互いのサツマイモの共通点や相違点などについて、その理由を考えたり、自分や友だちの成長やよさに気づいたりすることができるようにする。

- ・情報の発信により自分の気づきを広める

朝の会などを使って、畑のニュースを伝えたり、調べたことや見つけたことをクイズにしたりして交流し、自分のサツマイモに愛情をもち、自分の考えをもつきっかけにする。

- ・掲示物を介したやり取り

サツマイモのお知らせを紙に書いて知らせるスペースを作り、情報を交流していく。受けた情報に対してのお返事付箋も活用していく。調べてきたことを発信する「レベルアップコーナー」、今日気づいたことを知らせる「はっ見ニュースコーナー」、心配事や困ったことを知らせる「助けてコーナー」などに分ける。特に、「助けてコーナー」の内容は、クラスみんなで共有し、次の学習の課題にしたり、どうすればいいかをみんなで考え、解決したりしていくようにする。

<評価規準>

	生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
第1小單元 みんなで そだてよう	・育てる野菜について関心をもち、苗の植え方や育て方を進んで調べようとする。	・育てたい理由をはっきりさせて、育てたい野菜を考えたり、決めたりしている。	・植える時に大事なことに気を付けて、苗を植えている。 ・植物の種類で、苗の様子が違うことに気づいている。
第2小單元 チャレンジ! 2年1組の 『あまい サツマイモ』	・収穫を楽しみにしながら、世話をしようとしている。 ・サツマイモの変化や成長の様子に関心をもち、何度もかかわろうとしている。 ・収穫まで大切に育てる意欲をもち、世話の仕方や働	・これまでの経験や知っている情報をもとに、自分の願うサツマイモにするために必要な世話を考えている。 ・サツマイモの成長に合わせて、サツマイモの視点も加えて世話の仕方を考え、働き	・夏休み明けの畑の様子から、サツマイモは生命をもっていることや成長していることに気づいている。 ・収穫を通して、土の中のサツマイモがつながっていること、葉っぱの様子やつるの

	きかけを考えようとしている。 ・心配事を解決したいという願いをもち、畑の先生にかかわろうとしている。 ・サツマイモが育ったことを喜びながら、収穫しようとしている。 ・サツマイモの保存方法やおいしく食べる方法を調べ、収穫したサツマイモを大切にしようとしている。	かけを工夫している。 ・畑のサツマイモと教室のサツマイモの成長の様子を比べながら、土の中の様子を考え、想像しながら、絵に表している。 ・情報と、自分たちのサツマイモの様子とを関連付けて、収穫について考えている。 ・サツマイモや、一緒に育てた友たち、お世話になった人との思い出をふり返りながら、シートなどに表している。	長さ、1本の苗からたくさん芋ができることなどに気づいている。 ・収穫にかかわる活動から、つるや葉っぱの様子、芋以外の部分も活用できることに気づいている。 ・サツマイモを育てることができた自分のがんばりや成長に気づいている。
--	--	---	---

(4) 予想される子どもの学び (12時間扱い 本時9時間目)

時	学習活動(○)と予想される子どもの反応(・)	主な留意点(・)と評価(◇)
1	1. みんなで そだてよう! ○育てたい植物を考え、育てるものを決めよう。 ・おいしく食べられるサツマイモを育てて、前みたい に、自分たちで何か作って食べたいな。	◇育てたい理由をはっきりさせて、育てたい野菜を考えている。(思考・表現) ・子どもの情報を活かし、植え方が数種類あることを知らせ、植え方を選ぶ。
2	○植え方や育て方を調べてサツマイモの苗を植えよう。	◇植え付けで大事なことに気を付けながら、苗を植えている。(気付き)
3	・寝かせて植える? 立てて植える?	
4	・たくさんできるように寝かせて植えよう。	
5	2. チャレンジ! 2年1組の『あまいサツマイモ』 ○みんなでめざそう、『あまいサツマイモ』 ・甘くておいしいサツマイモがいい。 ・たくさんできてほしい。友だちと分けたいな。 ・栄養が取られるから、がんばって雑草を抜こう。	
6	○夏休み中にどこが変わったか見つけよう。 ・つるが長く伸びて、葉っぱもいっぱい。歩く所がない! ・下の葉っぱは黄色い。穴も開いている。 ・雑草も伸びた。すぐに取りたい。 ・2学期もお世話をがんばろう。	◇サツマイモの変化や成長の様子や生命をもっていることなど気づきを伝え合っている。(気付き)
7	○サツマイモは、どんなふうにできているのかな。 ・葉っぱやつるの様子はどうか。 ・土の中はどうなっているのだろう。イモはできたかな。 ・試し掘りしてみたい。 ・サツマイモは何をしてほしいのかな… ○畑の先生にきいてみよう。相談しよう。 ・葉っぱの紫の点々は病気ですか。 ・黄色い葉っぱは、どうなるんですか。 ・黄色い葉っぱは取るのか。ミニトマトと同じだ。 ・お世話の仕方がわかった。	◇サツマイモを大切に育てたいという意欲をもち、進んでかかわろうとしている。(関心・意欲・態度) ・心配の声や「助けてコーナー」の内容を共有し、アドバイザーの必要感を高める。
8	○土の中のサツマイモのようすを考えよう。	◇畑の先生に訊いたり教わったりして、心配事を解決しようとしている。(関心・意欲・態度) ・その後も聞いたことを活かして、心配事を解決しながら、世話を続けていく。 ・教室のさし木や畑の様子、経験から、土の

	<ul style="list-style-type: none"> ・どのくらいの大きさかな。このくらいかな。 ・幼稚園で掘った時、芋がつながっていたよ。 	<p>中の育ちを想像し、期待をもつ。</p> <p>◇土の中の様子を考え、想像しながら、絵に表している。(思考・表現)</p>
9 本 時	<p>○もう収穫できるか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱが元気にピンとしているからもう少し待つ。 ・植えて120日以上経つ。黄色い葉っぱが増えたから掘る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた情報や知識、自分たちの畑の様子から考えられるようにする。 ◇さまざまな情報や経験、サツマイモの様子を関連付けて、収穫について考えている (思考・表現)
10	<p>○収穫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先に、つると葉っぱを取るといいんだよ。 ・丈夫なつるだな。つるも食べられるって聞いた。 ・1週間くらい待とう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芋の収穫に加えて、つるや葉っぱなども活用し、喜びや楽しさを味わえるようにする。 ◇サツマイモが育ったことを喜びながら、収穫しようとしている。(関心・意欲・態度)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・芋がつながっている。いくつあるのかな。 ・すぐに食べたい。 ・少し置いておくとおいしくなるって。 	<p>◇収穫を通して、サツマイモがつながっていること、葉っぱやつるの様子、1本の苗からたくさん芋ができることなどに気づいている。(気付き)</p>
12	<p>○サツマイモとの思い出をふり返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものすごい暑さにも負けないサツマイモはえらいなあ。 ・心配した時もあったけど、元気になったよ。畑の先生、ありがとう。 ・おいしいスイートポテトができたのも、サツマイモのおかげだよ。ぼくも、毎日畑に通って、虫退治や草取りを頑張ったんだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモにかかわる活動全般をふり返りの対象とする。自分が成長できたこと、楽しかったことをふり返り、感謝の気もちをもつ。 ◇育ててきたサツマイモにかかわる思い出をふり返り、シートに表している。 (思考・表現) ◇サツマイモを育てることができた自分に気づいている。(気付き)

5 本時の指導（12時間扱い 本時9/12）

(1) 目標

サツマイモについて集めたり聞いたりした情報や、世話を通して気づいたサツマイモの変化や成長の様子などを関連付けて、収穫時期について考えることができる。

(2) 本時で求める姿

・サツマイモに関する情報や自分のサツマイモの様子を関連付けて、収穫できるかどうかを考えている姿。

(自分事)

・友たちの考えと自分の考えを比べながら、一生懸命聞いたり、反応したりしている姿。(伝え合う)

(3) 学習活動の展開

学習活動と主な発問(○)予想される子どもの姿(●)	留意点や支援(●)と評価(◇)
<p>1、前時のお世話の様子を話し合う。</p> <p>○みんなのサツマイモの調子はどうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱが広がっていたから、つる返しをしました。 ・黄色いのが枯れている葉っぱを見つけて取りました。 ・出てきたサツマイモに土をかけて、かくしました。 ・そろそろ収穫したいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ぼくたちのサツマイモは、もうしゅうかくできるのかな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのサツマイモ日記の記録などを見ながら、世話の中で気づいた最近のサツマイモの変化や成長の様子を話し合い、収穫に近づいていることを感じながら、本時の課題に入れるようにする。 ・早く掘りたいという気もちと、本当に掘ってもいいのかという疑問を引き出す。

2. 考えを出し合い、話し合う。

収穫できる

- 植えてから120日以上経っている。
- 葉っぱの色が全体黄色くなったり、枯れたりしている。
- 試し掘りをした時からもう2週間は経つから、きっとすごく大きくなっていると思う。

収穫できない

- まだ緑色の葉っぱが半分くらいあるし、ピンとしている。
- 雨が続けている。
- もっと大きくしたい。でも、大きくなりすぎると甘くなくなるんでしょ？
- 10月か11月に収穫するってばあちゃんが言っていたから、あと1週間くらい待ちたい。

わからない

- みんなのサツマイモの葉っぱは、どうなっていますか。
- 120日たっているけど、まだ、黄色い葉っぱが半分。

○いつ収穫することにしますか。

- サツマイモの葉っぱが枯れたり黄色くなったりしているのが多くなってきたから、もう掘れる。次の生活科の時間はどうですか。
- 天気予報では、来週はずっと晴れだから、来週の午前中に掘りたい。

3. サツマイモ日記を書く。

○これからやりたいこと、収穫に向けて楽しみにしていることをカードに書きましょう。

- ぼくは、あしたはたけに行って、葉っぱのことをよく見て来たいです。本当は、もう一回、ためしぼりをしてたしかめたいです。
- みんなで話し合って、〇〇の時間にほることにしたからたのしみです。はたけの先生が、ほる何日か前に、つるを切っておくと甘くなるって言っていたから、つるを切りたいです。
- おばあちゃんに、しゅうかくの仕方を聞いて、上手にしゅうかくできるようにしたいです。

- 畑の様子を撮った画像、これまでのカードのファイル、掲示物などを活用できるようにする。

- 情報や自分のサツマイモの変化や成長の様子を関連付けている発言を価値付けたり、判断した理由を問い返したりしていく。

* 植えてからの日にち * 葉の色

* 葉の元気度 * 天気 * 気温

* 試し掘りの時の様子 他

- 一緒に育てている子どもと交流しやすいように、席を隣にする。

- 子どもたちから出された考えは、整理しながら板書する。発言できない子どもも、自分の考えと比べて聞き、自分の立場をはっきりさせることができるようにする。

◇自分たちの畑のサツマイモの様子や変化に、気づいている。(発言)

◇得た情報や知識と自分たちのサツマイモの様子とを関連付けて、収穫できるかどうかを考えている。(発言、サツマイモ日記の内容)

- 本時の話し合いのよさを感じた子どもに発表してもらったり、クラスの子どもたちに広めたい考えをもつ子どもの紹介をしたりして、これからの活動を方向付けていく。